

# 仙台空港周辺地域活性化施設について

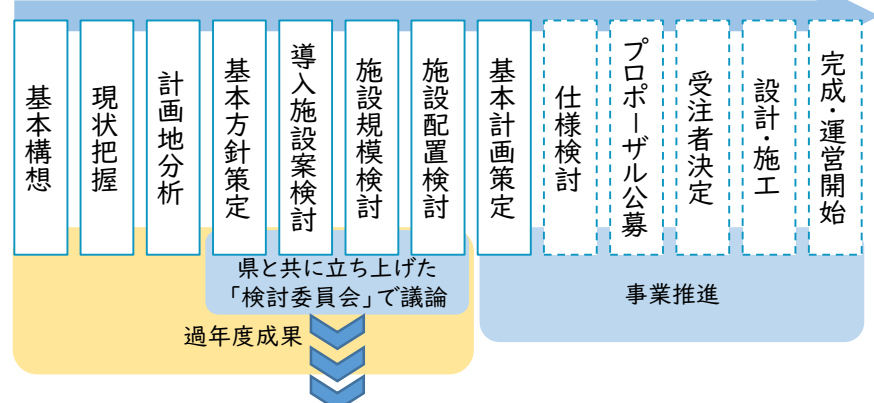
## 基本計画の背景と目的

仙台空港の旅客数は、令和元年には3,855千人と3年連続で過去最高を記録し、民営化以後着実に増加している。仙台国際空港株式会社は将来550万人の利用を目指しているため、空港周辺地域は大きな可能性を秘めた地域となっている。一方、空港が立地する岩沼市の観光客数は概ね横ばいであり、旅客数増加のメリットを十分に活かしきれていない状況にある。

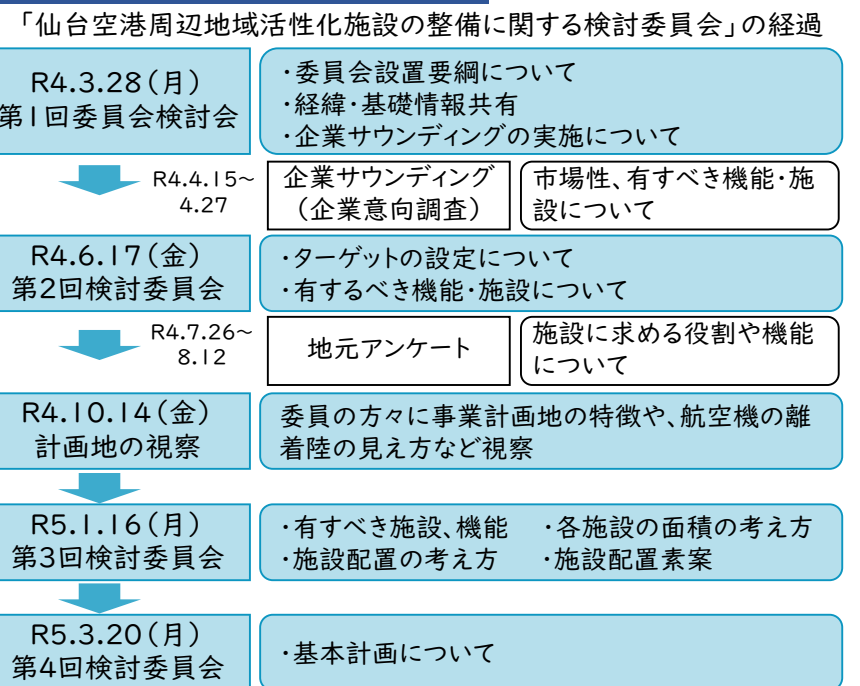
本事業は、仙台空港民営化を契機に、更にポテンシャルが増した仙台空港フロンティアパーク内（敷地面積3.5ha）において、空港を活かした空港周辺地域の賑わい創出や東北の玄関口としての新たな魅力づくりを行うことを目的として地域活性化施設の整備に係る基本計画を策定するものである。



## 基本計画策定までの流れと今後



## 検討委員会の経過



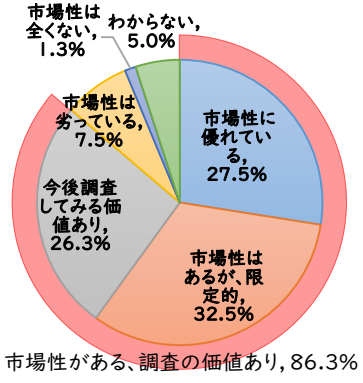
## 企業意向調査の概要

計画地の市場性や想定する機能・施設の妥当性を把握することを目的に、民間事業者を対象としての調査を実施。(募集方法:依頼約400社のほか、HPにも掲載。回答数:75社)

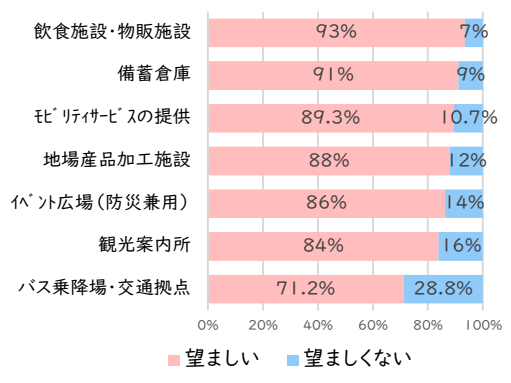
空港に隣接する計画地は高速道路等へのアクセスも容易であること、工場関連の施設で多くの雇用があるが飲食施設が少ないなど、十分市場性があると判断された。

活性化施設へ導入すべき各機能・施設については、想定していたすべての機能・施設について「整備が望ましい」との回答が多くを占めた。

グラフ1:市場性

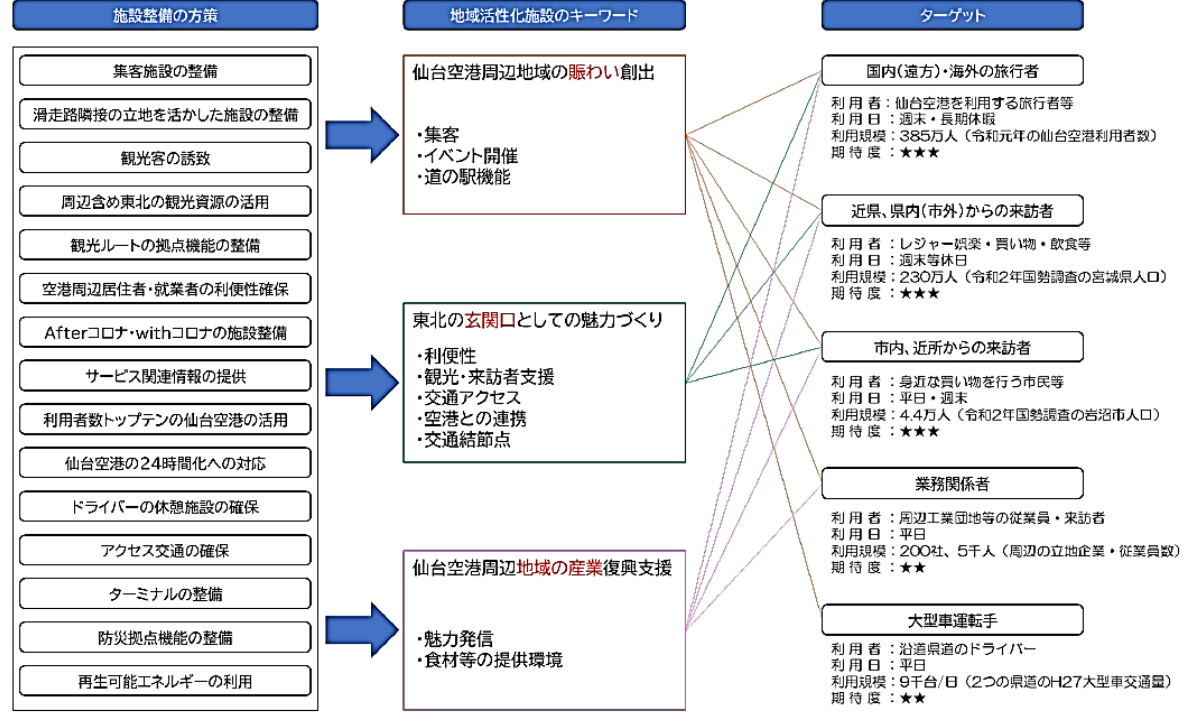


グラフ2:整備が望ましい施設



## 施設の利用者(ターゲット)

【地域活性化施設のコネクト】  
仙台空港のポテンシャルを活かした賑わい施設の整備

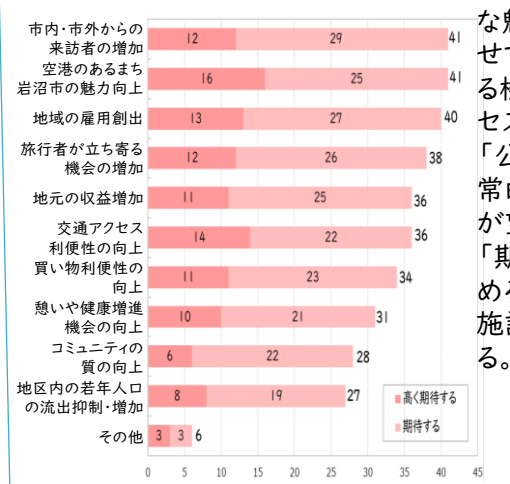


## 地元アンケートの概要

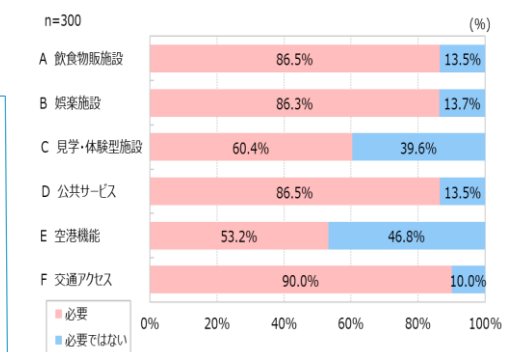
空港周辺地域の方々から、施設に求める役割についての意向を把握するため、地元代議員向けにアンケート調査を実施。(対象人数82人、回答54人、地元地区全体人数1,391人)

期待する役割では、「市内・市外からの来訪者の増加」や「空港のあるまち岩沼市の魅力向上」など、対外的な魅力向上に期待を寄せている。一方、求める機能では、「交通アクセス」、「飲食物販施設」、「公共サービス」など、日常的に利用できる施設が望まれていることから、「期待する役割」と「求める機能」を両立させる施設の検討が必要となる。

グラフ1:施設に期待する役割



グラフ2:施設に求める機能



期待する役割 ↔ 求める機能  
両立

活性化の拠点として整備を進めていくにあたり、地域活性化施設のテーマからキーワードを設定し、ターゲットを検討。集客施設としての利用や計画地の立地条件から、主なターゲットを「国内外の旅行者」「近県、県内(市外)からの来訪者」「市内、近所からの来訪者」「業務関係者」「大型車運転手」とした。

## 導入すべき施設の検討

企業アンケート		地元アンケート		
施設内容	肯定的な意見の割合	分類	具体的な施設	上位10施設*
飲食・物販施設	92.7%	飲食物販施設	レストラン 食堂・軽食 カフェ・バー 海外物産品販売 地域特産品販売 ドラッグストア	○ ○ ○
イベント広場	84.6%	娯楽施設	イベント広場 フィットネス スカイラウンジ	○
地場産品加工施設	86.5%	見学・体験型施設	物産品工場 施設園芸施設 食品工場 ジェット機展示	○
温浴・簡易宿泊施設	64.2%	娯楽施設	温浴施設 宿泊施設	○
観光案内所・情報施設	83.7%	公共サービス	広域観光・交通情報 住民サービス 窓口 キッズランド 貸し会議室 ギャラリー	○ ○
バス乗降場	69.8%	交通アクセス	駅	○
マイクロモビリティ拠点	69.8%		バスターミナル	○
モビリティサービス	90.0%		タクシー乗車場 駐車場	○ ○
備蓄倉庫	92.2%	公共サービス	防災機能	○

\*同率の施設があるため、10施設以上となっている

## 導入すべき施設の決定

導入するべき施設については、基本構想及び企業アンケートより活性化施設に必要と思われる施設と、地元アンケートより地元が求める施設の両方を満たす施設として、検討委員会における議論を踏まえ、周辺の類似施設との連携及び差別化や空港との連携等を考慮し選定した。また、地元アンケートの結果における、地域活性化施設に求める役割としての「市内外からの来訪者の増加」を図るため、計画地の特性である空港滑走路傍の立地を生かし、幅広い年齢層や家族形態を対象とできるキャンプ広場を導入すべき施設として選定した。

導入施設	アンケート・委員会	意見等の内容	導入理由
飲食施設	企業アンケート 第2回検討委員会  地元アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>集客効果・利便性の向上</li> <li>飛行機を見ながらの飲食</li> <li>空港と連携し、就航先の飲食ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機を眺めながらという計画地の特性が活かせる</li> <li>特徴ある飲食を提供することで、集客効果が期待でき、他の類似施設と差別化できる</li> <li>地元アンケート結果で上位、地元住民に求められている施設</li> <li>「スカイラウンジ」は計画地特性を活かせられ、魅力向上に繋がる</li> </ul>
物販施設	企業アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>地場産品のPRの場として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の特産品を扱うことで、周辺地域の活性化にも寄与する</li> <li>就航先の国や地域の物品を扱うなど他の施設と差別化でき、テナントや催事のスペースを設けることで、連携した活用を期待</li> </ul>
商業施設	地元アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元から2番目に希望される施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段使いを意識した施設も近隣市民等に求められている</li> <li>近隣に身近な商業施設がない</li> </ul>
遊戯施設	地元アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元から7番目に希望される施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機を眺めながら楽しむことから、来訪の主目的となりうる施設であり、リピーター獲得も狙える</li> </ul>
温浴施設	企業アンケート 第2回検討委員会  地元アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>集客効果・利便性の向上</li> <li>飛行機を見ながら温浴できる立地</li> <li>リピーターが望める施設</li> <li>地元から5番目に希望される施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機を眺めながらという計画地の特性を活かすことができ、他の類似施設との差別化が十分に図れる</li> <li>来訪の主目的となりうる施設であり、リピーター獲得も狙え、買い物や飲食にも波及効果が期待できる</li> </ul>
イベント広場	企業アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>集客の目玉として、イベント開催会場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>販わい創出、集客促進に寄与できる</li> </ul>
キャンプ、バーベキューエリア	第2回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機を見ながらキャンプやバーベキューができる立地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機を眺めながらという計画地の特性が活かせる</li> <li>空港隣接のキャンプ場は他に国内1箇所しかなく、差別化できる</li> <li>温浴施設もあれば、日本で唯一の場所となることのできる</li> </ul>
ターミナル	企業アンケート 第2回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港との連携の上で必要性が高い</li> <li>東北各地に高速バスで行ける施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港と東北各地を結ぶ交通結節点機能として整備が望まれる</li> <li>仙台空港との連携において、バス停の整備が望まれている</li> </ul>

## ゾーニング 参考図（仕様を決定するものではありません）

滑走路を活かした施設配置として、敷地の北側に滑走路があり、敷地内からは飛行機の離着陸を間近に見ることができ、眺望に適した販わい施設を滑走路側にゾーニングし、南側は交通アクセスに関する施設をゾーニングする。

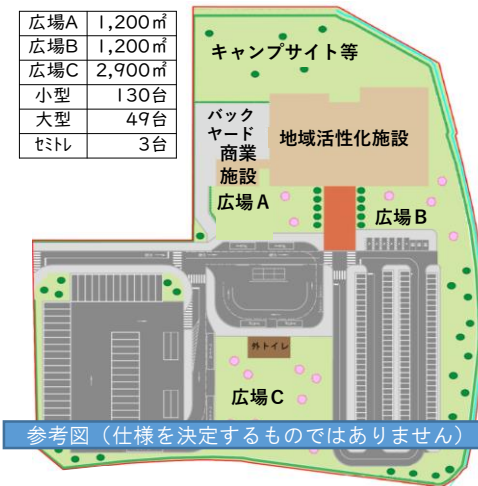
販わいを中心とした施設をゾーニング



## 全体レイアウト案(参考)

滑走路に近い北側には地域活性化施設を中心とした集客施設を、南側にはターミナルと駐車場を配置する。

北側の滑走路と最も近接する順に「滑走路側広場」と題した「キャンプ等エリア」、次に「活性化施設」、その南側にエントランス部となる「広場」を配置。



## 建物施設配置案(参考)

各施設の配置及び面積については、今後予定しているプロポーザル方式により、応募する各企業が提案することから、今回の基本計画における各施設配置及び面積は標準的なものを参考として示すものとする。

1階には、販わいのある空間として、食堂・軽食施設、休憩施設、物販施設、テナントスペース、遊戯施設を配置しテラス席なども設け、2階には、眺望を重視した温浴施設、レストラン及び1階と連続した遊び場として遊戯施設を配置した。

商業施設は、日常と非日常を区別し、営業時間を分ける等の別管理を可能とするため、別棟とした。

